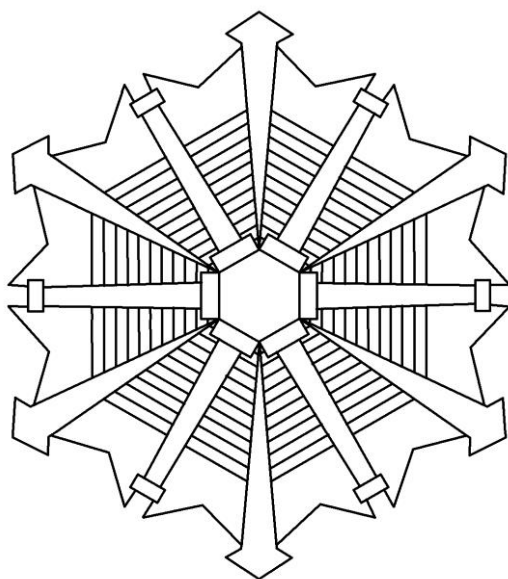


消防現況

令和6年版



久万高原町消防本部

= 目 次 =

◇ 火災編	1
◇ 救急編	5
◇ 救助編	23
◇ 予防編	27



火 災 編



守りたい 未来があるから 火の用心

久万高原町内の火災の実態

1. 火災の状況

(1) 地区別火災発生状況

管内における令和6年の火災発生件数は7件（久万地区5件、面河地区1件、美川地区1件、柳谷地区は0件）で、前年より3件増加している。

第1表 地区別火災発生状況

区分		久万高原町								合 計	
単位	久万地区		面河地区		美川地区		柳谷地区		令和5年	令和6年	
	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	令和6年			
出火件数		1	5		1	3	1			4	7
建物	件		4			1	1			1	5
林野		1			1	1			2	1	
車両			1							1	
その他						1			1		
損害額		108	8,187		164	9,497	2,865			9,605	11,216
建物	千円		7,946			9,201	2,865			9,201	10,811
林野		108			164	296			404	164	
車両			241							241	
その他											
焼損棟数	棟		5			3	2			3	7
り災世帯数	世帯		2			1				1	2
り災人員	人		2			4				4	2
死者 負傷者	人		1			2				2	1
出火率	件/万人									5.6	10.2

(2) 四季別の火災発生状況

第2表 四季別火災発生件数及び損害額

年 別 季 別	令和5年			令和6年		
	火災件数 (件)	構成比 (%)	損害額 (千円)	火災件数 (件)	構成比 (%)	損害額 (千円)
春季(3月～5月)	2	50.0	404	2	28.6	4,823
夏季(6月～8月)						
秋季(9月～11月)	1	25.0	9,201	2	28.6	405
冬季(12月～2月)	1	25.0		3	42.8	5,988
合 計	4	100.0	9,605	7	100.0	11,216

(3) 建物火災の状況

第3表 建物火災の状況

月 日	地 区	出火元の用途	焼損棟数	焼損程度	焼損床面積	焼損表面積
2月 13日	久万	倉庫	1	全焼	75 m ²	m ²
2月 20日	久万	住宅兼店舗	1	全焼	161 m ²	m ²
4月 12日	久万	住宅	1	全焼	123 m ²	m ²
4月 13日	美川	倉庫	2	全焼	191 m ²	m ²
12月 9日	久万	倉庫	2	全焼	83 m ²	m ²

(4) 覚知方法

第4表 覚知方法別件数

覚知方法	火災報知専用電話 (固定電話)	火災報知専用電話 (携帯電話)	加入電話	事後聞知	合計
件数(件)	3	3		1	7

(5) 時間帯別の火災発生状況

第 5 表 時間帯別出火件数

時間帯	4時～10時	10時～16時	16時～22時	22時～4時	合計
件数(件)	1	5	1		7

2. 火災による死傷者の状況

令和 6 年の火災による死傷者は、死者 0 名、負傷者 1 名となっている。なお、死者については、平成 29 年 5 月から発生していない。

3. 初期消火

令和 6 年中に発生した火災 7 件のうち、初期消火の実施は 3 件(叩き消し、消火器、水をかける)であった。

4. 出火原因

第 6 表 火災別発火源・経過・着火物

火災種別	月日	発火源	経過	着火物
建物	2 月 13 日	バーナー	その他	枯草
建物	2 月 20 日	不明	不明	不明
建物	4 月 12 日	バーナー	その他	枯草
建物	4 月 13 日	その他の電気機器	スパークする	その他
車両	9 月 8 日	不明	不明	不明
林野	11 月 20 日	その他の裸火	火の粉が散る遠くへ飛火する	枯草
建物	12 月 9 日	消し炭	消したはずのものが再燃する	その他

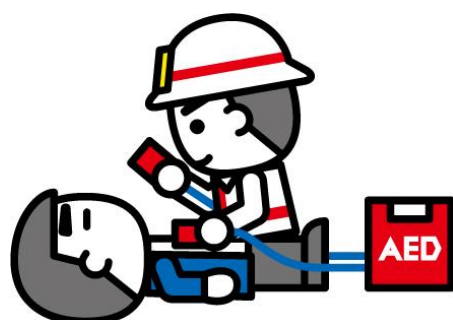
令和6年 火災一覧表

火災番号	出火月日	火災種別	出火場所	出火時刻	覚知時刻	鎮火時刻	天候	風速 (m/秒)	湿度 (%)	火元用途	構造 燃焼 建築物	焼損棟数			死傷者	焼損面積 (㎡)			損害額 (千円)	出火原因
												全焼	半焼	部分焼		床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	林野 (a)		
1	2/13	建物	原野	13:30	14:00	15:00	晴	1.1	38.3	倉庫		1				75			1,058	雑草の焼却処分中に枯草へ延焼し、原野及び木造建物を全焼したもの。
2	2/14	建物	台所	6:55	7:05	9:30	雨	0.6	98.6	住宅兼店舗		1			1	161			4,353	不明
3	4/12	建物	その他	12:20	12:27	14:00	晴	2.8	44	住宅		1				123			1,958	重の焼却をしていたところ、枯草に延焼し、休耕田及び道を焼損し、隣接する木造一階建て建物一棟を全焼したもの。
4	4/13	建物	倉庫	11:50	11:01	12:20	晴	1	46	倉庫		2				191			2,865	経年劣化した自動車用バッテリーが充電中にスパークし、充電器の電気配線被覆に着火した後、電気配線沿いに延焼し、木製の塵芥に燃え移ったもの。
5	9/8	車両	林業機械	10:30	10:47	11:40	晴	1.8	53.3	機械部									241	不明
6	11/20	林野	山麓	13:45	14:27	14:15	晴	2.5	51.6	原野								3	164	田畑で木材の焼却を行っていたところ、周囲の田畑の枯草、枯木に飛火し延焼したもの。
7	12/9	建物	倉庫	21:10	21:36	22:20	曇	0.2	78.4	倉庫		2				83			577	簡易かまどで使用していた炭に、熱がなく消えたと思い倉庫に置いてある発泡スチロールに入れた。その消し炭が再燃し、発泡スチロールに着火、近くの木材に延焼し出火したものの。
合計												7			2	2		3	11,216	

※焼損程度解説

- ・全焼
建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- ・半焼
建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- ・部分焼
建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものでばやに該当しないものをいう。
- ・ばや
建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損床面積が1㎡未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の評価額の10%未満であり焼損表面積が1㎡未満のもの又は収容物のみ焼損したものをいう。

救 急 編



ひとりひとりが 救命のワンピース

1 救急業務の実施状況

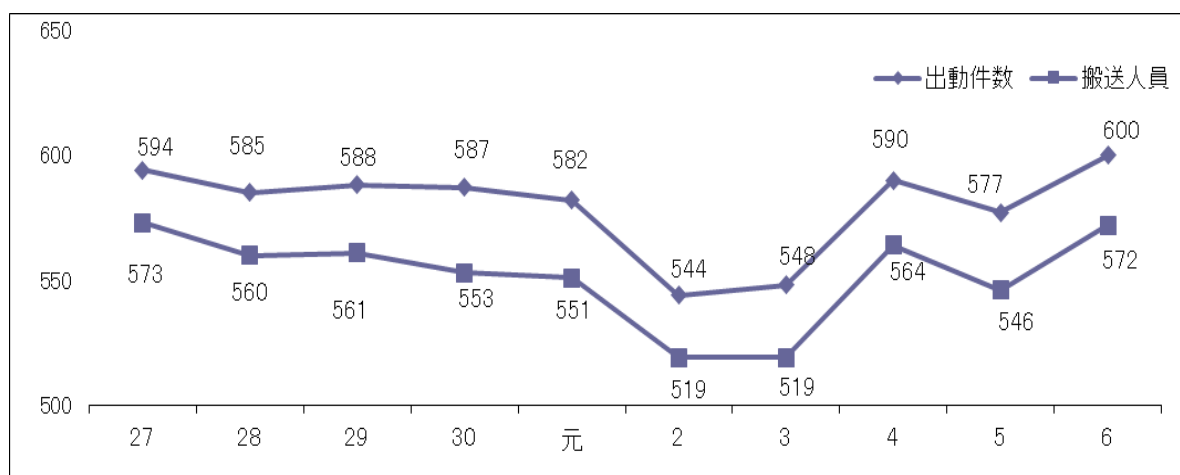
1. 救急出場件数および搬送人員…町民 12 人に 1 人を搬送

令和 6 年の救急出場件数は 600 件（1.64 件/日）、搬送人員は 572 人（町民 12 人に 1 人搬送）となっている。令和 2 年以降、出動件数、搬送人員共に増加傾向となっている。

（第 1 図、第 1 表参照）

第 1 図 救急出場件数と搬送人員の推移

※過去 10 年間の久万高原町の統計



第 1 表 年別救急活動の比較

年	救急出場件数		搬 送 人 員	
	件数	前年増減率	人員	前年増減率
27	594	▲2.0	573	▲1.9
28	585	▲1.5	560	▲2.3
29	588	0.5	561	0.2
30	587	▲0.2	553	▲1.4
元	582	▲0.9	551	▲0.4
2	544	▲6.5	519	▲5.8
3	548	0.7	519	0
4	590	7.7	564	8.7
5	577	▲2.2	546	▲3.2
6	600	4.0	572	4.8
累計	5,795	—	5,518	—

２．事故種別救急出場件数および搬送人員

出場件数 600 件を事故種別で見ると、急病 293 件（48.8%）、次いで転院搬送 149 件（24.8%）、一般負傷 98 件（16.3%）となっており、上位 3 種別で全体の 89.9% を占めている。（第 2 表参照）

また、搬送人員 572 人を年齢区分別に見ると、高齢者が 465 人で全体の 81.3% を占めている。（第 3 表参照）

第 2 表 事故種別救急出場件数および搬送人員

事故種別	令和6年中		令和5年中		前年からの増減	
	出場件数 搬送人員	構成比	出場件数 搬送人員	構成比	増減数	増減率
急 病	293	48.8%	279	48.4%	14	5.0%
	275	48.5%	261	47.8%	14	5.4%
一般負傷	98	16.3%	96	16.6%	2	2.1%
	92	15.8%	88	16.1%	4	4.5%
交通事故	40	6.7%	29	5.0%	11	37.9%
	39	6.8%	28	5.1%	11	39.3%
労働災害	9	1.5%	5	0.9%	4	80.0%
	7	1.2%	5	0.9%	2	40.0%
自損行為	2	0.3%	6	1.0%	▲ 4	▲66.7%
	0		2	0.4%	▲ 2	▲100.0%
火 災	1	0.2%	1	0.2%	0	-
	1	0.2%	1	0.2%	0	-
加 害	1	0.2%			1	100.0%
	1	0.2%			1	100.0%
運動競技	3	0.5%	1	0.2%	2	200.0%
	3	0.5%	1	0.2%	2	200.0%
水 難	1	0.2%	1	0.2%	0	▲50.0%
	3	0.5%	1	0.2%	2	200.0%
自然災害						
転 院	149	24.8%	157	27.2%	▲ 8	▲5.1%
	149	26.0%	157	28.8%	▲ 8	▲5.1%
その他	3	0.5%	2	0.3%	1	50.0%
	2	0.3%	2	0.3%	0	-
合 計	600	100.0%	577	100.0%	23	4.0%
	572	100.0%	546	100.0%	26	4.8%

第3表 年齢区分別事故種別搬送人員

(572人)

年齢区分 事故種別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
急病		4 0.7%	2 0.3%	28 5.0%	241 42.1%	275 48.1%
一般負傷			3 0.5%	14 2.4%	75 13.1%	92 16.1%
交通事故			1 0.2%	22 3.8%	16 2.8%	39 6.8%
転院			1 0.2%	19 3.3%	129 22.6%	149 26.0%
その他			4 0.7%	9 1.6%	4 0.7%	17 3.0%
計		4 0.7%	11 1.9%	92 16.1%	465 81.3%	572 100.0%

第4表 月別・事故種別救急出場件数

(600件)

月 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
急病	29	23	22	17	29	30	21	35	28	12	22	25	293
一般	9	7	8	4	10	7	9	12	7	5	11	9	98
交通	6		4	2	7	4	7	4	3	3			40
その他		2		1		1	4	4	5	2		1	20
転院	20	9	14	10	10	10	12	21	6	13	8	16	149
計	64	41	48	34	56	52	53	76	49	35	41	51	600

第5表 時間帯別・事故種別出場件数

(600件)

事故種別 時間	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他		計
											転院	その他	
0～2							1			4	2		7
2～4				1			4			6	3		14
4～6							2			18			20
6～8	1			5	1		10			22	4		43
8～10				2	2		15		1	38	25		83
10～12			1	12	3	2	20			39	26		103
12～14				6			13			38	22		79
14～16				6	1		10		1	31	24	1	74
16～18				3	2	1	10			31	21	1	69
18～20							5			28	10	1	44
20～22				4			4	1		23	7		39
22～24				1			4			15	5		25
計	1	0	1	40	9	3	98	1	2	293	149	3	600

第 6 表 住居区分別・事故種別搬送人員

(572 人)

事故種別 住居区分	急 病	一般負傷	交通事故	転 院	その他	計
町 内 居 住 者	256	75	18	140	9	498
	44.8%	13.1%	3.1%	24.5%	1.6%	87.1%
町 外 居 住 者	19	17	21	9	8	74
	3.3%	3.0%	3.6%	1.6%	1.4%	12.9%
計	275	92	39	149	17	572
	48.1%	16.1%	6.7%	26.1%	3.0%	100.0%

第 7 表 発生場所別・事故種別搬送人員

(572 人)

事故種別 発生場所	急 病	一般負傷	交通事故	その他	計
住 宅	221	59	2	2	284
	38.7%	10.4%	0.3%	0.3%	49.7%
公衆出入場所	37	13	2	5	57
	6.5%	2.3%	0.3%	0.9%	10.0%
仕 事 場	3			4	7
	0.5%			0.7%	1.2%
道 路	9	4	33	1	47
	1.5%	0.7%	5.8%	0.2%	8.2%
そ の 他	5	16	2	5	28
	0.9%	2.8%	0.3%	0.9%	4.9%
病院（転院）				149	149
				26.0%	26.0%
計	275	92	39	166	572
	48.1%	16.1%	6.8%	29.0%	100.0%

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

3. 医療機関別搬送人員の状況

救急搬送人員 572 人中、救急告示医療機関への搬送は 501 人（87.6%）、救急告示医療機関以外への搬送は 71 人（12.4%）となっている。

（第 8 表、第 9 表参照）

第 8 表 開設区分・告示区分別搬送人員

（572 人）

開設区分 告示区分	医 療 機 関						その他の場所	計
	国 立	公 立	公 的	私的病院	私的診療所	計	ドクターヘリ 消 防 中 継	
救急告示	26 (26)	262 (34)	87 (87)	126 (126)		501 (273)		501 (273)
非告示		16 (16)		4 (4)	30 (0)	50 (20)	21 (21)	71 (41)
計	26 (26)	278 (50)	87 (87)	130 (130)	30 (0)	551 (293)	21 (21)	572 (314)

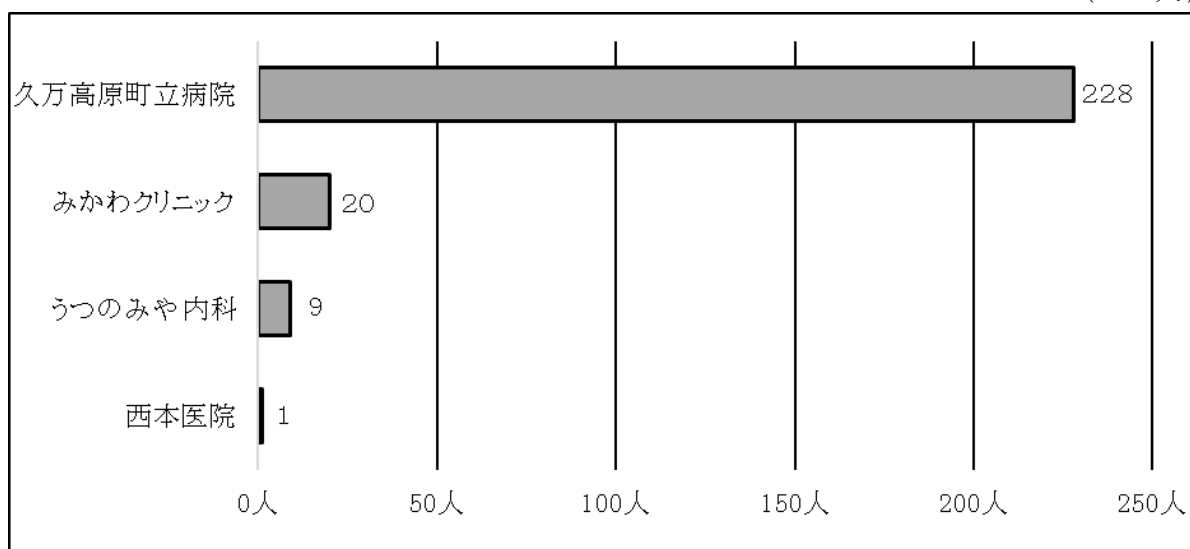
※（ ）は管外の医療機関に搬送された人員である。

救急搬送人員 572 人中、管内医療機関への搬送は 258 人で、久万高原町立病院 228 人（88.4%）、みかわクリニック 20 人（7.7%）、うつのみや内科 9 人（3.5%）、西本医院 1 人（0.4%）となっている。また、管外医療機関及び特殊機関への搬送は 314 人で、そのうち転院搬送人員は 142 人（45.2%）を占めている。

（第 2 図、第 9 表参照）

第 2 図 管内医療機関別収容人員

（258 人）



第 9 表 医療機関別搬送人員一覧表

(572 人)

管内医療機関	医 療 機 関 名		開設	人員	内転院
	告 示	久万高原町立病院	公 立	228	7
	非告示	みかわクリニック	私 的	20	
		うつのみや内科	私 的	9	
		社団昇和会西本医院	私 的	1	
	合 計			258	7
管外医療機関	救急告示	国立病院機構愛媛医療センター	国 立	21	8
		愛媛大学医学部附属病院	国 立	5	3
		愛媛県立中央病院	公 立	34	28
		松山赤十字病院	公 的	58	31
		済生会松山病院	公 的	28	11
		梶原町立国民健康保険梶原病院	公 的	1	
		松山市民病院	私 的	31	11
		南松山病院	私 的	25	10
		奥島病院	私 的	19	8
		梶浦病院	私 的	13	4
		愛媛生協病院	私 的	11	4
		野本記念病院	私 的	8	4
		平成脳神経外科病院	私 的	7	1
		松山城東病院	私 的	4	2
		松山まどんな病院	私 的	4	2
		笠置記念病院	私 的	2	
		渡辺病院	私 的	2	
	合 計			273	127
	非告示	救命救急センター	公 立	16	9
		その他県内	私 的	4	2
	合 計			20	11
特 殊	ドクターヘリ（県外ドクターヘリ含む）		19	4	
	他消防機関・その他		2		
総 計			572	149	

4. 傷病程度別搬送人員の状況

搬送人員 572 人の事故種別傷病程度を見ると、死亡 19 人（3.3％）のうち、13 人（2.3％）が急病となっている。また、最も多くなっている中等症 282 人（49.3％）においても、急病が 127 人（22.2％）を占めている。

（第 10 表参照）

第 10 表 事故種別傷病程度

（572 人）

事故種別 \ 傷病程度	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
急 病	13 2.3%	49 8.6%	127 22.2%	86 15.0%		275 48.1%
交通事故	3 0.5%	7 1.2%	14 2.5%	15 2.6%		39 6.8%
一般負傷	2 0.3%	15 2.6%	38 6.6%	37 6.5%		92 16.0%
そ の 他	1 0.2%	37 6.5%	103 18.0%	25 4.4%		166 29.1%
計	19 3.3%	108 18.9%	282 49.3%	163 28.5%		572 100.0%

搬送人員 572 人の年齢区分別傷病程度を見ると、高齢者の中等症が最も多く 240 人（42.0％）を占めている。また、重症以上はほとんどが成人、高齢者で占めており、成人では死亡 1 人（0.2％）、重症 17 人（2.9％）、高齢者では死亡 18 人（3.1％）、重症 90 人（15.7％）となっている。

（第 11 表参照）

第 11 表 年齢区分別傷病程度

（572 人）

年齢区分 \ 傷病程度	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
新生児						
乳幼児		1 0.2%	2 0.3%	1 0.2%		4 0.7%
少 年			3 0.5%	8 1.4%		11 1.9%
成 人	1 0.2%	17 2.9%	37 6.5%	37 6.5%		92 16.1%
高齢者	18 3.1%	90 15.7%	240 42.0%	117 20.5%		465 81.3%
計	19 3.3%	108 18.8%	282 49.3%	163 28.6%		572 100.0%

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

5. 急病に係る疾病分類別搬送人員の状況

年齢区分別傷病程度別にみると、中等症以上の高齢者は 61.4%（死亡 4.7%、重症 14.5%、中等症 42.2%）と、中等症以上の成人 6.2%（重症 2.9%、中等症 3.3%）の約 10 倍となっている。（第 12 表参照）

第 12 表 急病に係る年齢区分別傷病程度別搬送人員

(275 人)

傷病程度 年齢区分	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
新生児						
乳幼児		1 0.4%	2 0.7%	1 0.4%		4 1.5%
少 年				2 0.7%		2 0.7%
成 人		8 2.9%	9 3.3%	11 4.0%		28 10.2%
高齢者	13 4.7%	40 14.5%	116 42.2%	72 26.2%		241 87.6%
計	13 4.7%	49 17.8%	127 46.2%	86 31.3%		275 100.0%

6. 現場到着所要時間別出場件数の状況

救急出場件数 600 件のうち、転院搬送 149 件、出場途上辞退 3 件を除く 448 件について現場到着所要時間を見ると、10 分以上 20 分未満が最も多く 173 件となっている。また、転院搬送を除く現場到着平均所要時間は 15.8 分（前年 15.3 分）となっている。（第 13 表参照）

第 13 表 現場到着所要時間別・事故種別出場件数

(597 件)

現場到着 所要時間 事故種別	3分未満	3分～ 5分未満	5分～ 10分未満	10分～ 20分未満	20分以上	計	現場到着 平均所要 時間
急 病	3	9	93	115	73	293	14.4
交 通	1	1	11	9	17	39	19.4
一般負傷		4	23	44	26	97	18.3
その他	1		6	5	7	19	16.9
計	5	14	133	173	123	448	15.8
転 院	10	20	94	16	9	149	6.8
総 計	15	34	227	189	132	597	13.5

※救急辞退 3 件を除く。

※全国統計の現場到着所要時間は平均 10.0 分となっている。（令和 6 年版消防
白書参照）

7. 収容所要時間別搬送人員の状況

搬送人員 572 人のうち、転院搬送 149 人を除く病院収容した 423 人についての収容所要時間別（覚知～医療機関などに引き継ぐまでに要した時間）の状況は、60 分以上 120 分未満が最も多く 182 人であった。また、30 分以上が 513 人及び収容平均所要時間が 59.6 分（前年 57.4 分、2.2 分増）で長時間の活動が多くなっている。（第 14 表参照）

第 14 表 収容所要時間別・事故種別搬送人員の状況

(572 人)

収容所要 時間 事故種別	10分 未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 120分未満	120分 以上	計	収容平均 所要時間
急 病		8	32	117	108	10	275	58.4
交 通			3	13	17	6	39	72.7
一般負傷		6	5	28	47	6	92	68.0
その他			2	5	10		17	52.4
計		14	42	163	182	22	423	61.6
転 院		3		113	33		149	53.9
総 計		17	42	276	215	22	572	59.6

※全国統計の収容所要時間は平均 45.6 分となっている。（令和 6 年版消防白書参照）

第 15 表 ドクターヘリ要請状況

年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
件 数	13	12	11	18	12	21

第 16 表 ドクターカー要請状況

年	平成24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
件 数	4	7	1	6	4	3	1	1	0	0	0	1	0

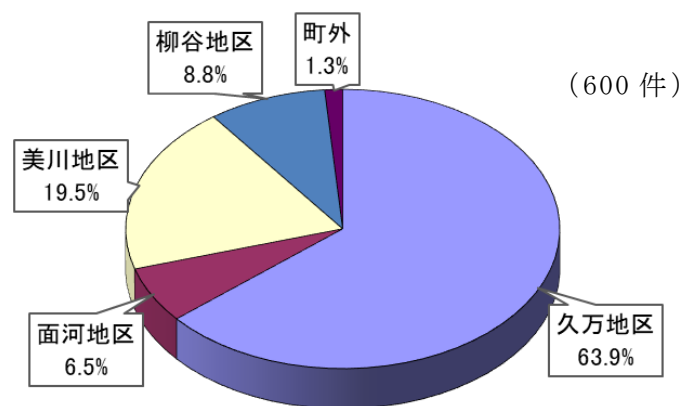
第 17 表 救急隊員の行った応急処置状況

事 故 種 別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員	305	39	98	172	614
止 血		6	6	1	13
固 定		15	20	13	48
人 工 呼 吸	8		1	1	10
酸 素 吸 入	73	10	8	47	138
保 温	58	6	22	29	115
被 覆	3	16	19	2	40
胸 骨 圧 迫	6	2	1	1	10
心 肺 蘇 生	6	2	1	1	10
* うち自動式心マッサージ器	5	1			6
* 在宅療法継続					
* ショックパンツ					
* 血 圧 測 定	262	36	90	161	549
* 心音呼吸音聴取	21	5	3	13	42
* 血中酸素飽和度測定	271	35	91	166	563
* 心電図測定等	133	9	9	62	213
気 道 確 保	18	2	2	1	23
* うち経鼻エアウェイ					
* うち喉頭鏡・鉗子等					
◎* うちラリングヘルマスク等	5	1		1	7
◎* うち気管挿管					
* 除 細 動					
◎* 静 脈 路 確 保 CPA前	1				
◎* 静 脈 路 確 保 CPA後					
◎* 薬 剤 投 与 アドレナリン					
◎* 薬 剤 投 与 ブドウ糖					
◎* 血 糖 測 定	1			1	2
そ の 他	282	38	91	161	572
合 計	1,153	184	364	661	2,362
* 拡大された応急処置等	699	87	193	404	1,383
◎うち特定7項目	7	1		2	10

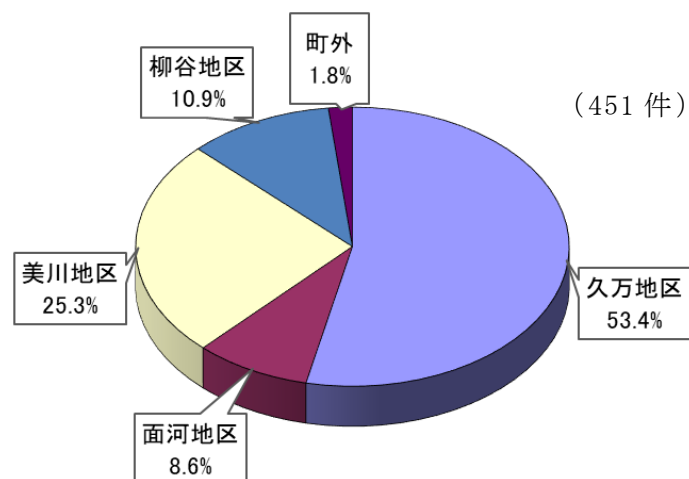
第 18 表 地区別救急出場件数の増減

地区 件数	久万高原町				町外	計
	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区		
令和6年	383	39	117	53	8	600
	63.9%	6.5%	19.5%	8.8%	1.3%	100.0%
うち転院を除く	241	39	114	49	8	451
	53.4%	8.6%	25.3%	10.9%	1.8%	100.0%
令和5年	393	33	95	53	3	577
増 減	▲ 10	6	22	0	5	23
増 減 率	▲2.5%	18.2%	23.2%		166.7%	4.0%

第 3 図 地区別救急出場件数



第 4 図 転院を除く地区別救急出場件数



第 19 表 普通救命講習 I 実施状況

番号	受講日	講習時間	受 講 団 体 名	受講者数	修了証 交付者数	派遣人員
1	2月 9日	3:00	防災士養成講座	13	13	2
2	2月 10日	3:00	防災士養成講座	15	15	2
3	2月 16日	3:00	防災士養成講座	14	14	2
4	2月 17日	3:00	防災士養成講座	12	12	2
5	5月 21日	3:00	町内建設会社	8	8	3
6	5月 28日	3:00	町内中学校	29	29	4
7	6月 4日	3:00	林業従事者	35	35	3
8	6月 11日	3:00	町内中学校	49	49	3
9	6月 28日	3:00	町内高等学校	31	31	4
10	7月 17日	3:00	町内高齢者福祉施設	9	9	2
11	7月 18日	3:00	女性防火クラブ	7	7	1
12	7月 24日	3:00	町内高齢者福祉施設	10	10	3
13	8月 2日	3:00	町内教職員	20	20	3
14	8月 3日	3:00	町内教職員	22	22	3
15	8月 16日	3:00	防災士養成講座	13	13	2
16	8月 17日	3:00	防災士養成講座	11	11	3
17	8月 23日	3:00	防災士養成講座	11	11	2
18	9月 11日	3:00	林業従事者	16	16	2
19	9月 13日	3:00	町内こども園	11	11	2
20	9月 27日	3:00	町内高齢者福祉施設、防災士養成講座	16	16	3
21	10月 4日	3:00	町内高齢者福祉施設	16	16	4
22	10月 7日	3:00	林業従事者	10	10	2
23	10月 11日	3:00	町内高齢者福祉施設	10	10	3
24	10月 18日	3:00	町内高齢者福祉施設	10	10	2
25	12月 5日	3:00	町内高齢者福祉施設	12	12	2
合計			26団体	410	410	64

第 20 表 救命講習修了者一覧

(平成 5 年からの累計)

	合計	官公庁	消防団	女性防火 クラブ	会社 事業所	学校	その他
上級救命講習	568	36	394	56	15	23	44
普通救命講習	7,170	363	462	319	1,232	3,644	1,150
総修了者数	7,738	399	856	375	1,247	3,667	1,194

8. 応急手当・口頭指導の実施状況

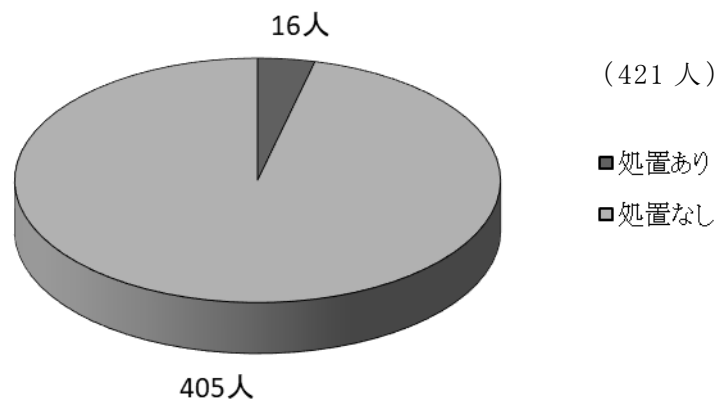
(1) 応急手当の実施状況

令和 6 年中の搬送人員 572 人のうち、転院搬送及びその他（中継搬送）の 151 人を除く 421 人について、救急隊到着前の応急手当の実施についてみると 16 人が応急手当を受けている。また、事故種別ごとの応急手当の実施についてみると、急病において 10 人が最も多くなっており、次いで一般負傷 5 人、交通事故 1 人となっている。

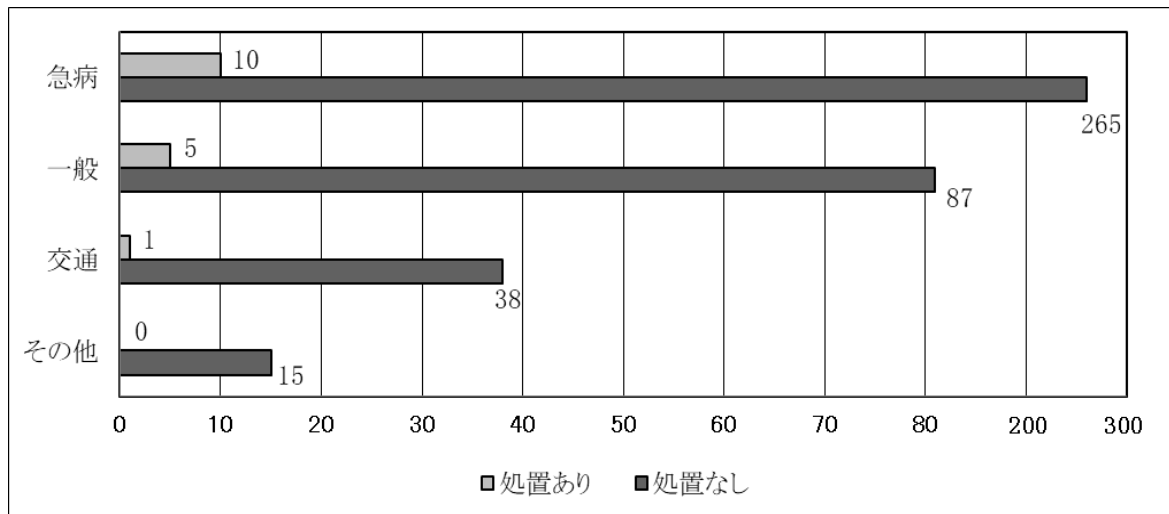
応急手当の内容を見ると、胸骨圧迫 11 件、止血 5 件、AED 装着 3 件、被覆 1 件となっており、応急手当の実施者については、そのほとんどが家族・関係者である。

(第 5・6・7・8 図参照)

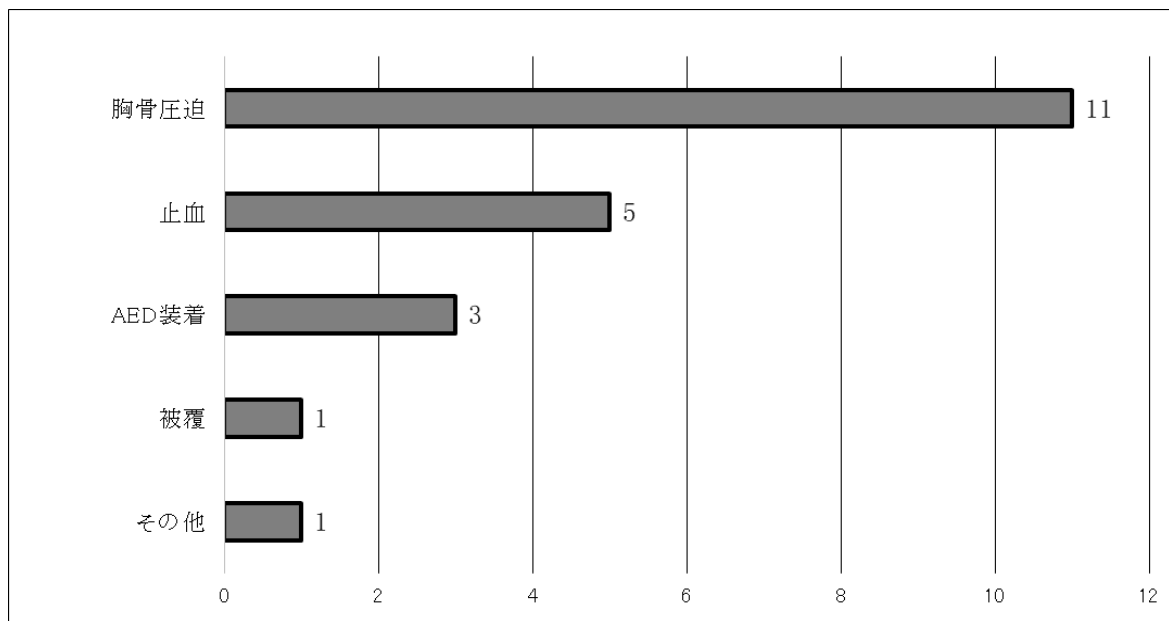
第 5 図 応急手当実施状況



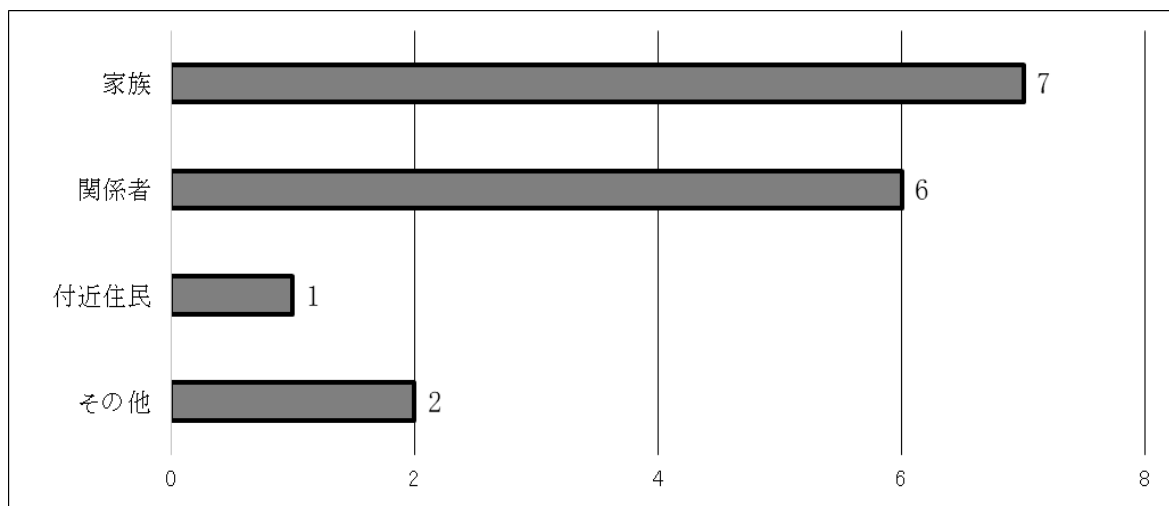
第 6 図 事故種別別応急手当実施状況



第 7 図 応急手当内容



第 8 図 応急手当実施者



(2) 救急通報受信中における通報者等に対する応急手当の指導（以下、口頭指導という）状況について

令和6年中の搬送人員572人のうち、転院搬送及びその他（中継搬送）の151人を除く421人について、口頭指導を実施した件数は26件であった。また、口頭指導による応急手当の実施は21件、未実施は5件となっている。

（第25表参照）

第25表 口頭指導状況

口 頭 指 導 の 項 目	指導件数
心肺蘇生法・AED・気道確保などに関するもの	15件
止血・被覆などに関するもの	9件
その他（体位管理、冷却）	2件
合 計	26件

※指導回数には複数項目の場合が存在するため回数と件数は一致しない。

第 26 表 久万高原町内 AED 設置箇所状況 (総設置箇所 69 箇所)

久 万 地 区		25	うつのみや内科	4	相ノ峰公民館【私設置】
1	久万高原町役場(本庁)【寄贈】	26	高橋歯科医院	5	面河診療所
2	久万 B & G 海洋センター	27	わたなべ歯科医院	6	消防団多機能車両(里成)
3	養護老人ホーム「ささゆり荘」	28	I C ランド土居	7	面河山岳博物館
4	老人保健施設「あけぼの」	29	道の駅「天空の郷さんさん」	美 川 地 区	
5	久万高原町産業文化会館	30	久万カントリークラブ	1	久万高原町役場(美川支所)
6	久万高原町教育委員会	31	高原ゴルフクラブ	2	美川小学校
7	久万小学校	32	入野福祉館	3	仕七川小学校
8	直瀬小学校	33	農業公園アグリピア	4	美川中学校
9	明神小学校	34	大宝寺【私設置】	5	岩屋寺【私設置】
10	父二峰小学校	35	久保建設【私設置】	6	仕七川駐在所
11	畑野川小学校	36	石丸建設【私設置】	7	美川中学校「若竹寮」
12	久万中学校	37	くま安心館【寄贈】	8	みかわクリニック
13	上浮穴高校【県設置】	38	グループホーム「サマリア」【寄贈】	9	小椋商店
14	久万高原町立病院	39	グループホーム「メサイア」【寄贈】	10	久万高原町社会福祉協議会(本所)
15	父二峰診療所	40	まちなか交流館	柳 谷 地 区	
16	国民宿舎「古岩屋荘」	41	久万保健センター	1	久万高原町役場(柳谷支所)
17	久万スキーランド【私設置】	42	県中予地方局	2	四国電力面河発電所
18	ふるさと旅行村【寄贈】	43	県林業センター	3	消防団多機能車両(落出)
19	畑野川歯科【県歯科医師会設置】	44	消防団本部拠点施設(本部消防隊車両)	4	中津公民館
20	久万高原警察署	45	久万高原森林組合本所【私設置】	5	古味集会所
21	四国電力久万営業所	面 河 地 区		6	吉村医院
22	久万子ども園	1	面河小学校	7	柳谷小学校
23	伊予銀行久万支店【私設置】	2	おもご高齢者生活支援ハウス		
24	松山市農協久万支所【私設置】	3	若山集会所		

救 助 編



危険に立ち向かうオレンジの精鋭

救助活動体制の現状

(1) 救助活動状況の推移

令和6年における救助出動件数は62件、このうち活動件数は49件、救助人員（救助活動により救助された人員をいう。）は47人となっており、前年よりそれぞれ増加している。（第1表 第1図参照）

第1表 過去10年間の救助活動状況の推移

区 分 年 別	救 助 出 動 件 数		救 助 活 動 件 数		救 助 人 員	
	件数	増減率(%)	件数	増減率(%)	人員	増減率(%)
H27年	27	△10	24	9.1	22	△8.3
H28年	44	63.0	35	45.8	25	13.6
H29年	55	25.0	41	17.1	29	16.0
H30年	49	△10.9	42	2.4	40	37.9
R 1年	40	△18.4	30	△28.6	29	△27.5
R 2年	39	△2.5	32	6.7	31	6.9
R 3年	36	△7.7	26	△18.8	25	△19.4
R 4年	59	63.9	54	107.7	48	92.0
R 5年	45	△23.7	38	△29.6	38	△20.8
R 6年	62	37.8	49	28.9	47	23.7

第1図 救助出動状況と救助人員



(2) 事故種別状況

事故種別出動件数は、ドクターヘリ支援が前年12件から19件に増加し、最多件数となっている。次いで、救急搬送応援が11件、山岳事故が9件となっている。

(第2表参照)

第2表 事故種別状況

事故種別 救助出動活動件数 及び救助人員		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	建 物 事 故	防 災 ヘ リ 支 援	ド ク タ ー ヘ リ 支 援	搬 送 応 援	捜 索 活 動	山 岳 事 故	そ の 他	合 計
出動	件 数	5	6	1	1	0	19	11	4	9	6	62
	構 成 比 (%)	8.1%	9.7%	1.6%	1.6%	0.0%	30.6%	17.7%	6.5%	14.5%	9.7%	100%
活動	件 数	5	4	1	1	0	14	10	2	6	6	49
	構 成 比 (%)	10.3%	8.2%	2.0%	2.0%	0.0%	28.6%	20.4%	4.1%	12.2%	12.2%	100%
人員	人 員 数	0	7	1	1	0	14	10	2	6	6	47
	構 成 比 (%)	0%	14.9%	2.1%	2.1%	0.0%	29.8%	21.3%	4.2%	12.8%	12.8%	100%
過去10年の合計件数		29	45	11	4	6	105	101	45	71	29	446

(注)火災による出動・活動件数は、建物火災のみを計上。



(3) 事故種別出動人員及び活動人員の状況

事故種別出動人員及び活動人員数はドクターヘリ支援が最も多く、次いで火災となっている。（第3表・第2図参照）

第3表 事故種別出動人員及び活動人員の状況

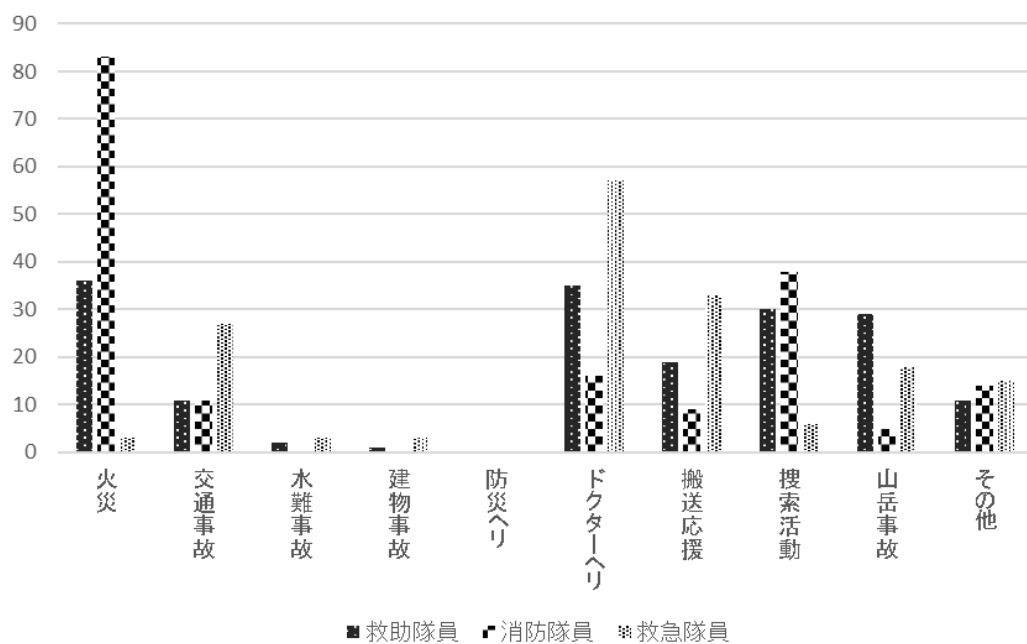
事故種別 出動人員 及び活動人員		火災	交通事故	水難事故	建物事故	支防 災ヘリ 援	ヘドク タ ヘリ 支 援	搬送 応 援	捜索 活 動	山岳 事 故	そ 他	合 計
救助隊員	出 動	36	11	2	1	0	35	19	30	29	11	174
	活 動	36	7	2	1	0	28	17	27	17	11	146
消防隊員	出 動	83	11	0	0	0	16	9	38	5	14	176
	活 動	83	10	0	0	0	13	9	35	2	14	166
救急隊員	出 動	3	27	3	3	0	57	33	6	18	15	165
	活 動	3	27	3	3	0	57	33	3	9	15	153
合 計	出 動	122	49	5	4	0	108	61	74	52	40	515
	活 動	122	44	5	4	0	98	59	65	28	40	465

(注)ア．各欄上段の「出動」とは、救助活動を行うために出動した全ての人員を、下段の

「活動」とは、救助出動人員のうち実際に救助活動を行った人員を計上。

イ．火災の出動及び活動人員は、現場に出動した消防・救急・救助隊員数を計上。

第2図 事故種別出動人員



(4) 主な救助活動

第 4 表 令和 6 年の主な救助活動

番号	種別	発生月	発生場所	出動人員
				救助人員
1	交通事故	1 月	久万高原町 西明神	12 人
				3 人
	軽自動車同士が正面衝突したもの。2 台共車線の中央で停車した状態。傷病者は 4 名で複数人の脱出困難、火災の可能性があるので救助出動したもの。			
2	搬送応援	1 月	久万高原町 有枝（程野山林内）	9 人
				1 人
	山林内で草刈り中に、躓いて転倒し右大腿部及び右胸部を負傷。山林内は急斜面で搬送困難なため、防災ヘリを要請し、ピックアップ可能な場所まで搬送するため救助出動したもの。			
3	搜索活動	5 月	久万高原町 二名	52 人
				1 人
	増水時に水田の確認に行った高齢者の行方が分からなくなり、搜索出動となったもの。関係機関と連携し 4 日間に渡り搜索活動を行った。			
4	山岳事故	7 月	久万高原町 石鎚山登山道 （二ノ鎖付近）	6 人
				1 人
	西条市消防本部からの情報で、石鎚山の二ノ鎖付近で女性が滑落し、応援要請のため救助出動となったもの。			
5	水難事故	7 月	久万高原町 若山 河川	5 人
				1 人
	川で親子 3 名が溺れているとの通報を受け、ボートを用意し救助出動する。出動途中にボートは必要ないが、搬送に人を要するため、現場へ向かう。			

予 防 編



10 年
おつかれさま

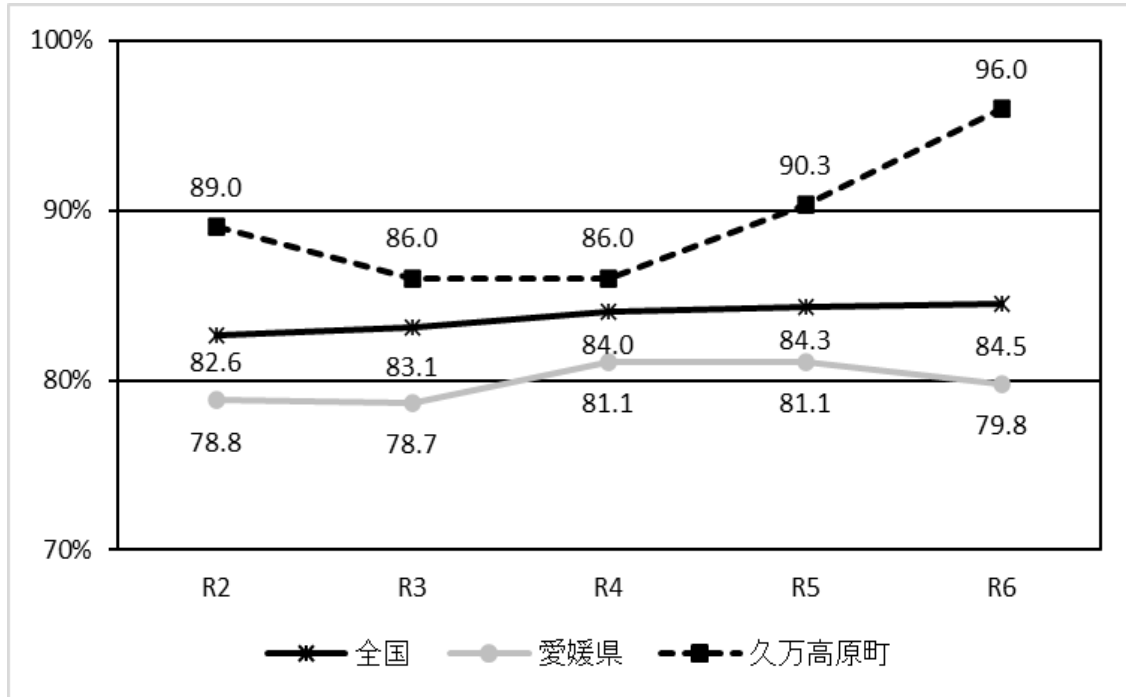


火災予防 私たちにできること！

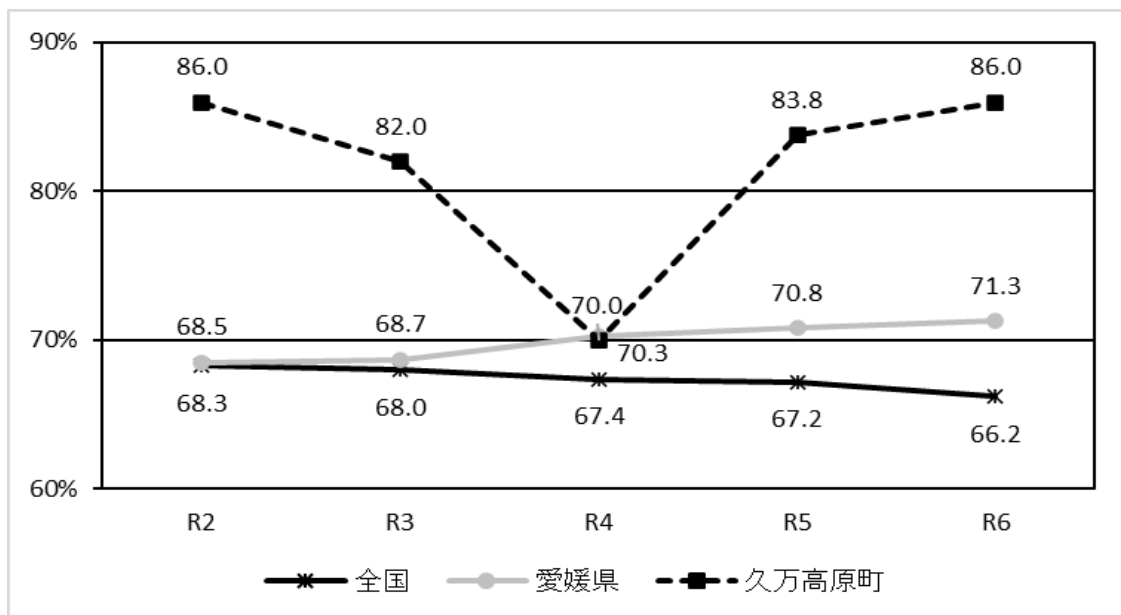
予防行政の現状

1. 住宅防火対策

第1図 住宅用火災警報器設置率の推移



第2図 条例適合率の推移



※ 第1図・第2図は標本調査によるもの

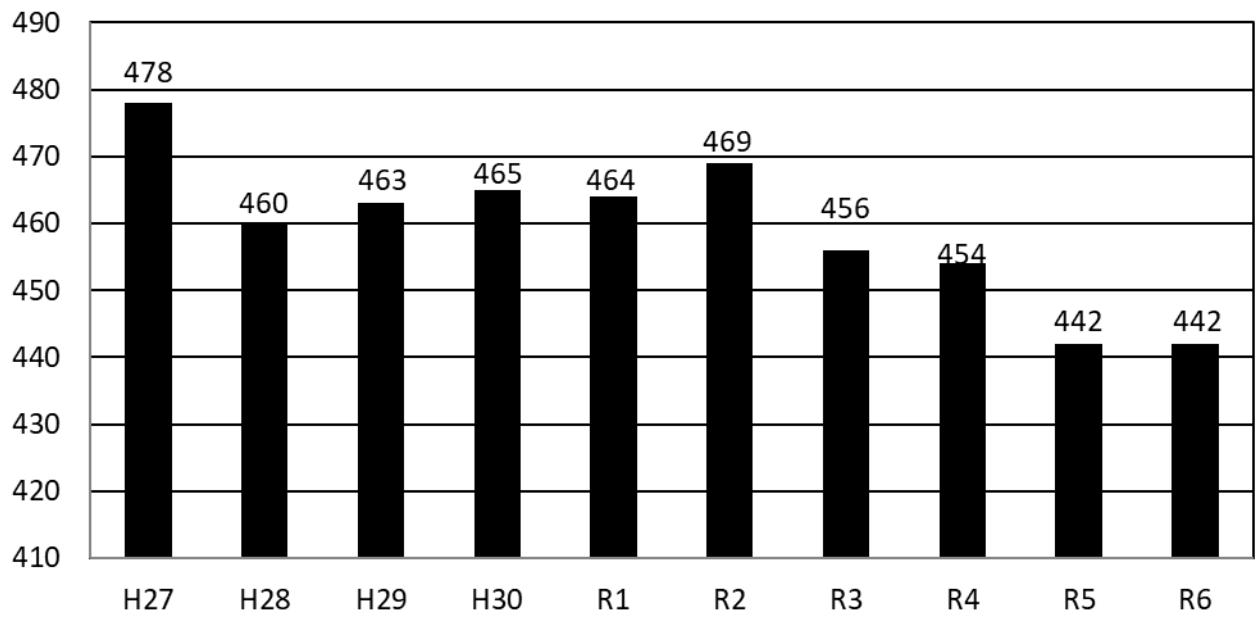
2. 防火対象物

第1表 用途・地区別防火対象物数

			久万地区			面河地区			美川地区			柳谷地区			合計		
			R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1	1	-			-			-			-	1	1	-
	ロ	公会堂・集会場	19	19	-	7	7	-	5	5	-	5	5	-	36	36	-
2	イ	キャバレー・カフェ等			-			-			-			-	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール			-			-			-			-	-	-	-
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			-			-			-			-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等			-			-			-			-	-	-	-
3	イ	待合・料亭の類			-			-			-			-	-	-	-
	ロ	飲食店	3	3	-			-			-			-	3	3	-
4		百貨店・マーケット・その他店舗 展示場	10	10	-	1	1	-			-			-	11	11	-
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	9	9	-	3	3	-	2	2	-	2	2	-	16	16	-
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	24	24	-	3	3	-	7	7	-	5	5	-	39	39	-
6	イ	病院・診療所又は助産所	5	4	-1			-	1	1	-	1	1	-	7	6	-1
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	9	9	-			-			-			-	9	9	-
	ハ	老人デイサービス施設等	6	6	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	9	9	-
	ニ	幼稚園・特別支援学校	4	4	-			-	2	2	-			-	6	6	-
7		小中高等学校・各種学校等	21	21	-			-	9	9	-	2	2	-	32	32	-
8		図書館・博物館・美術館	6	6	-	1	1	-			-			-	7	7	-
9	イ	蒸気浴場等			-			-			-			-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	1	2	1			-			-			-	1	2	1
10		車両停車場			-			-			-			-	-	-	-
11		神社・寺院・教会	5	5	-			-	1	1	-			-	6	6	-
12	イ	工場・作業場	36	37	1	2	2	-	8	8	-	1	1	-	47	48	1
	ロ	映画スタジオ等			-			-			-			-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	3	3	-			-	1	1	-			-	4	4	-
	ロ	飛行場の格納庫			-			-			-			-	-	-	-
14		倉庫	34	33	-1	2	2	-	2	2	-	1	1	-	39	38	-1
15		前各項に該当しない事業場	74	72	-2	2	2	-	10	11	1	18	18	-	104	103	-1
16	イ	特定の複合用途対象物	27	27	-	5	5	-	8	8	-	3	4	1	43	44	1
	ロ	その他複合用途対象物	13	13	-	1	1	-	3	3	-			-	17	17	-
17		重要文化財・重要美術品	2	2	-			-	3	3	-			-	5	5	-
18		アケード			-			-			-			-	-	-	-
19		市町村長の指定する山林			-			-			-			-	-	-	-
合 計			312	310	-2	28	28	-	63	64	1	39	40	1	442	442	-

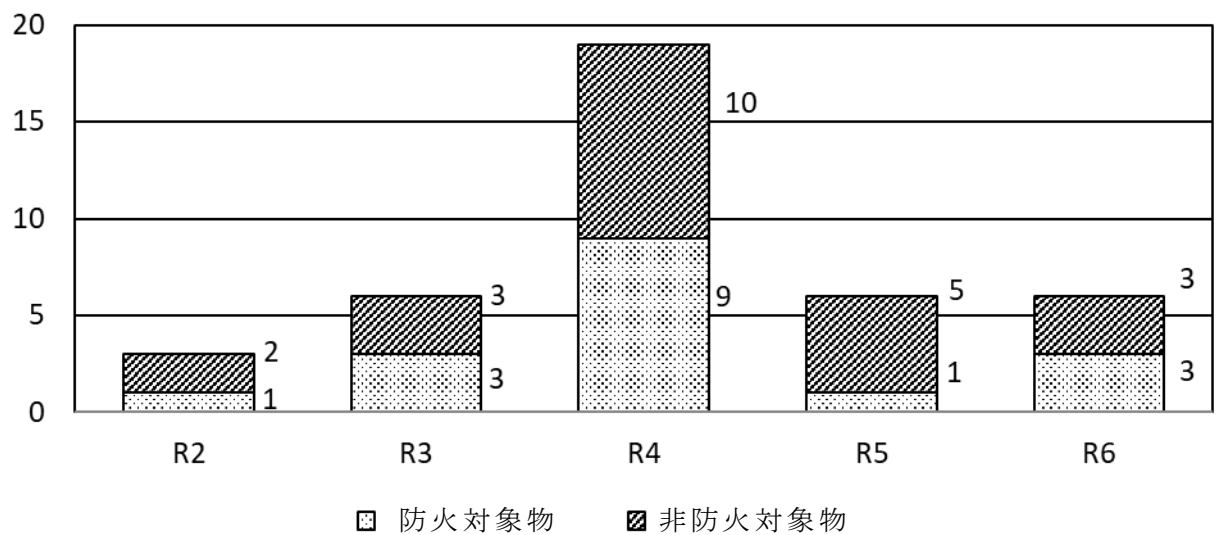
※消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物のうち(1)項から(16)の(3)項までに掲げる防火対象物で延べ面積が150㎡以上のもの及び(17)項から(19)項に掲げる防火対象物

第 3 図 防火対象物数の推移



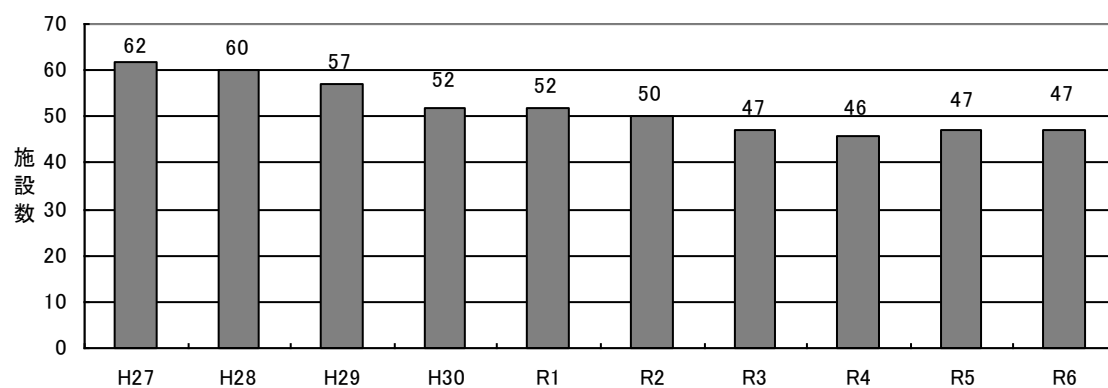
3. 消防同意

第 4 図 消防同意処理状況



6. 危険物

第7図 危険物施設数の推移



第3表 許可区分別・地区別危険物施設数

地区別		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	合 計
貯蔵所	屋 内	2				2
	屋外タンク	4		1		5
	屋内タンク	1				1
	地下タンク	7			1	8
	簡易タンク	2				2
	移動タンク	6		3		9
	屋 外					0
取扱所	給 油 [自家用]	10 [3]	1 [1]	4 [2]	1 [0]	16 [6]
	一 般	3		1		4
合 計		35	1	9	2	47

高齢者の防火対策

第1表 久万高原町における高齢化率の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
久万高原町 総人口(人)	8,495	8,299	8,034	7,830	7,830	7,309	7,079
久万高原町 高齢者数(人)	3,994	3,911	3,865	3,811	3,811	3,643	3,554
久万高原町 高齢化率(%)	47.02	47.53	48.11	48.67	48.67	49.84	50.20
愛媛県 総人口(人)	1,387,133	1,374,887	1,362,859	1,350,801	1,350,801	1,320,035	1,304,400
愛媛県 高齢者数(人)	438,049	440,710	442,170	443,576	443,576	441,606	440,898
愛媛県 高齢化率(%)	31.58	32.05	32.44	32.84	32.84	33.45	33.80

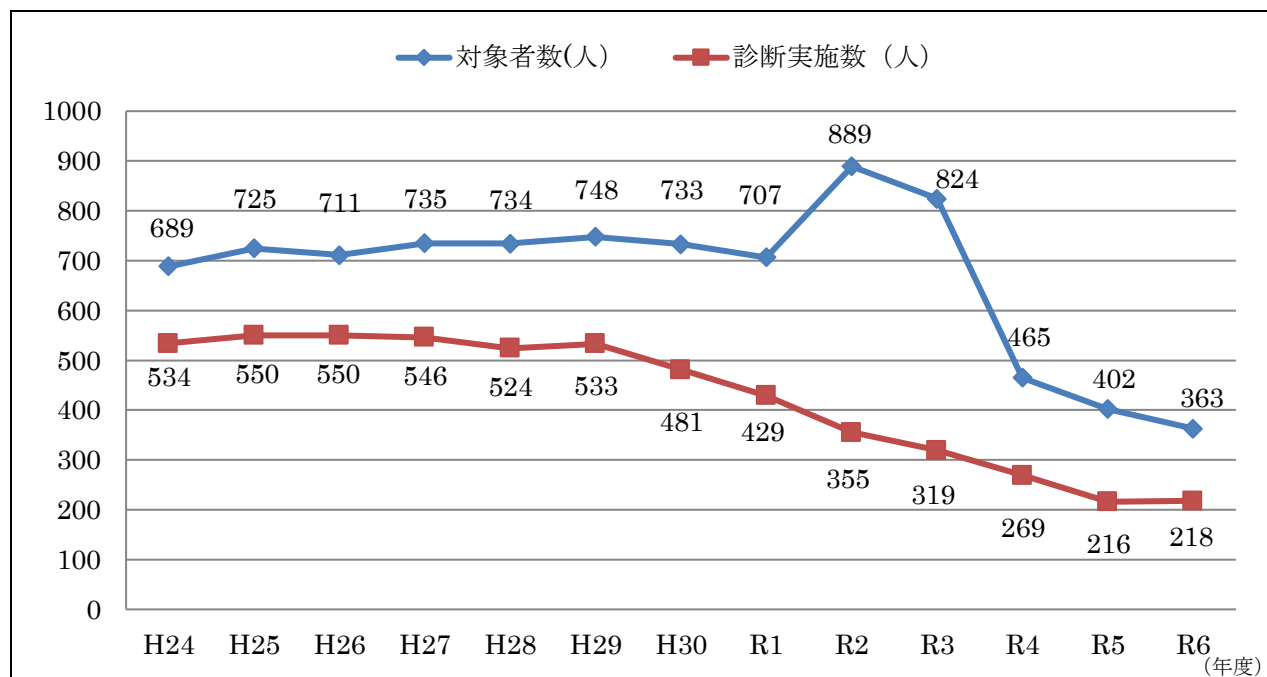
※愛媛県介護長寿課発行「高齢者人口等統計表」より抜粋

※高齢者の年齢は65歳以上

防災診断

1. ひとり暮らしのお年寄り宅防災診断

第1図 対象者数及び診断実施数の推移



※対象者はR3年度までは65歳以上、R4年度からは75歳以上。

第2表 地区別訪問状況及び建物の状況

久万 地区	対象者区分（人）			在宅数・在宅率（％）		建築年（S56）	
	男性	女性	合計	在宅	在宅率	以前	以降
令和6年度	41	148	189	112	59.3	86	21
令和5年度	52	153	205	107	52.2	79	24
令和4年度	63	193	256	133	52.0	107	24
令和3年度	146	304	450	162	36.0	120	40
令和2年度	176	380	513	192	37.4	154	35

面河 地区	対象者区分（人）			在宅数・在宅率（％）		建築年（S56）	
	男性	女性	合計	在宅	在宅率	以前	以降
令和6年度	8	21	29	15	51.7	14	1
令和5年度	13	26	39	18	46.2	15	3
令和4年度	11	28	39	21	53.8	18	3
令和3年度	22	56	78	37	47.4	35	2
令和2年度	22	54	74	29	39.2	29	0

美川 地区	対象者区分（人）			在宅数・在宅率（％）		建築年（S56）	
	男性	女性	合計	在宅	在宅率	以前	以降
令和6年度	29	71	100	63	63.0	53	4
令和5年度	33	78	111	63	56.8	54	8
令和4年度	34	81	115	81	70.4	70	9
令和3年度	72	135	207	85	41.1	71	14
令和2年度	74	133	204	99	48.5	83	16

柳谷 地区	対象者区分（人）			在宅数・在宅率（％）		建築年（S56）	
	男性	女性	合計	在宅	在宅率	以前	以降
令和6年度	12	33	45	28	62.2	26	2
令和5年度	14	33	47	28	59.6	25	3
令和4年度	14	41	55	34	61.8	29	5
令和3年度	34	55	89	35	39.3	32	2
令和2年度	40	64	98	35	35.7	30	4

※各地区の在宅数・在宅率の対象外数は除く

※各地区の建築年不明数は除く

第3表 火気使用状況

	暖房器具			調理器具			入浴設備				仏壇 (線香)
	石油	電気	その他	電気	ガス	その他	石油	電気	ガス	かまど	
久万地区	89 (0)	52 (0)	4 (0)	13 (0)	98 (7)	0	32	32	33	18	97
面河地区	12 (0)	6 (0)	0	2 (0)	13 (2)	0	2	4	5	7	12
美川地区	48 (0)	21 (0)	0	5 (0)	54 (6)	1 (1)	10	21	11	28	52
柳谷地区	24 (0)	8 (0)	0	3 (0)	25 (2)	1 (1)	8	11	4	10	23

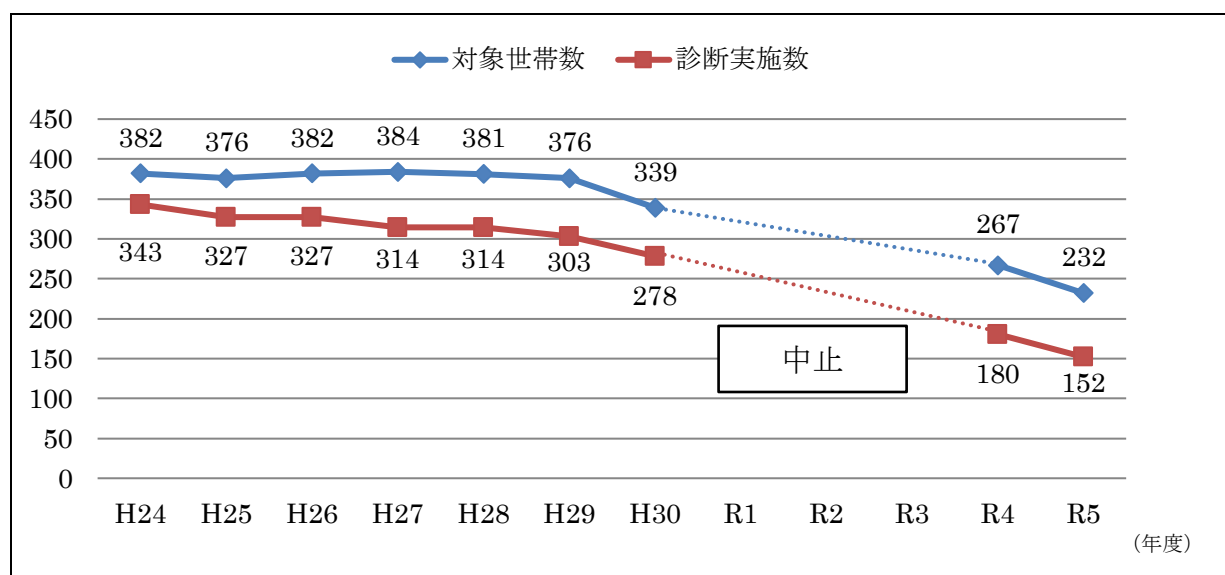
※（ ）内は安全装置が付いていない物の数

第4表 住宅用防災機器等の設置状況

	住宅用火災警報器		ガス漏れ警報器		消火器具	
	設置数	設置率（％）	設置数	設置率（％）	設置数	設置率（％）
久万地区	103	93.6	93	94.9	69	61.6
面河地区	11	73.3	12	92.3	11	73.3
美川地区	55	93.2	53	98.1	40	63.5
柳谷地区	25	89.3	23	92.0	20	71.4

2. 後期高齢者夫婦世帯等防災診断

第2図 対象世帯数及び診断実施数の推移



※対象は75歳以上の夫婦世帯

※R1～3年度は新型コロナウイルスの影響により中止。

消防現況 令和6年版

発行日 令和7年3月1日

発行 久万高原町消防本部

〒791-1207

愛媛県上浮穴郡久万高原町下野尻甲33番地

TEL (0892) 21-2411 FAX (0892) 21-2656

久万高原町
イメージキャラクター



©kurakogen